

衛生管理等について

～施設における感染症対策～

担当：北海道俱知安保健所
健康推進課健康支援係保健師

なぜ感染症対策が必要か

- ・利用者が集団で生活している
 - ・面会等で人の出入りがある
 - ・清潔行動をとれない場合がある
- 感染症が
発生・拡大
しやすい

- ★平常時から感染症の発生を防止する。
- ★発生時は感染を最小限にできるよう、迅速で適切な対応を図る。

➡ 利用者と職員の健康を守る

1 感染症発生時に施設内で早期に 探知・共有できる体制整備

タイムリーに発生状況を把握する。

- いつ、どこで、誰が、どんな症状
- 日時、居室や階ごとに状況をまとめる

ポイント

- ★平常時から利用者・職員の健康状態を把握する体制が必要。
 - ★管理者や現場責任者も含め、施設全体で情報共有する。
- 健康観察、
健康診断、
検便など

2 保健所への相談の活用や タイムリーな報告

感染症に関わる保健所の相談業務

- 目的：感染症の発生・まん延防止
- 内容：施設の消毒方法、隔離・、
- PPE着脱、ゾーニング
- 施設の特성에応じた対策を検討

ポイント

- ★発症している人数や期間に関わらず、対応で困った場合は相談を。
- 新型コロナウイルス感染症は「施設における新型コロナウイルス感染症 発生時ガイド施設向け 第3版」を参考に

3 施設職員の教育

感染拡大防止の基本

- ・感染のリスクを理解すること
- ・適切な処理や措置の方法を知ること

→予防と対策について、正しい知識や手技を習得する機会が必要。

ポイント

- ★委託先の従業員を含む全ての職員が知識と手技を習得することは、入所者と職員自身の感染予防につながる。

施設における結核

1. 特徴

- ・高齢者は発症しやすい…免疫低下、再発

2. 症状

- ・呼吸器症状…2週間以上続く咳は特に注意
- ・全身症状…発熱、寝汗、倦怠感、体重減少（高齢者では全身の衰弱、食欲不振）

3. 対策

- ・日頃の健康観察 + 年1回のX線検査
- ・症状や検査所見あり→必ず医療機関を受診

参考資料(ホームページ)

北海道感染症情報センター

- 全道、後志管内の感染症の発生状況

国立感染症研究所

- 各疾患の基礎知識

厚生労働省

- 感染性胃腸炎に関する消毒方法やQ&A
- 高齢者等の施設における感染対策マニュアルなど

相談窓口

	感染症等	食品衛生等
小樽市保健所	健康増進課 健康づくりG 0134-22-3110	生活衛生課 食品衛生G 0134-22-3118
北海道岩内保健所	健康推進課 0135-68-1537	生活衛生課 0135-68-1537
北海道俱知安保健所	健康推進課 健康支援係 0136-23-1957	生活衛生課 食品保健係 0136-23-1961